

日頃の点検と共済加入で備える

伊予市双海町 岡村 繁夫さん(72)

私が住む地域では、近くの黒山から南風が吹き下ろし、夜も眠れないくらいの強風が吹くことがよくあります。台風シーズンや春先の突風シーズンはもちろん、普段から天気概況や気圧配置図をよく見るようにし、風を予測することによってハウスに損害がでないように気にかけています。また日頃から、施設に傷みがないか常に点検し、風が吹いた後も必ず全体を確認するようにしています。

強風が吹く前は、空気口を閉め換気扇を回し、



ハウス内部の気圧を下げ、飛ばされるのを防いでいます。あまりの強風の時はハウスに近づかないのが一番ですね。被害が出てないか気にはなりますが、身の安全が大事です。

園芸施設共済には20年近く前から加入しています。小さな被害は自分で修繕できるので、小損害不てん補の20万円コースを選択し、大きな被害に備えています。まだ加入していなかった頃に、強風でアーチパイプが抜け、屋根の上部が飛んでしまったことがあります。ほぼ全棟吹き飛んだので、大損害でした。その経験を踏まえ、加入を続けています。

現在の制度には満足していませんが、被覆材が破れたらスパンごとに被害を算定するのではなく、1棟丸ごと算定するようにするなど、農家の声を反映してますます充実した制度になってほしいですね。

▽経営内容 Ⅱハウス：かんきつ26㍏（谷本早生、愛媛果試28号）、露地：キウイフルーツ17・1㍏